

別 冊

各部局における平成 29 年度の県産材利用事例

目次

建築物 木の良さ実感！

観光・交流施設

富士山世界遺産センター (静岡県(文化・観光部富士山世界遺産課))	1
金時公園多世代交流施設・土俵屋形 (静岡県(文化・観光部観光政策課))	1
ふじのくに茶の都ミュージアム (静岡県(経済産業部お茶振興課))	2
AOI-PARC (静岡県(経済産業部農業戦略課))	2
二條集会所 (静岡県(経営管理部地域振興課))	3
富士山こどもの国シカ避難小屋 (静岡県(富士土木事務所))	3

教育

静岡県立掛川西高等学校 (静岡県(教育委員会))	4
三島市立北中学校 (静岡県(教育委員会))	4

児童・福祉

介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 (静岡県(健康福祉部介護保険課))	5
グループホームあぼかど (静岡県(健康福祉部障害者政策課))	5
静岡県立総合病院(先端医学棟) (静岡県(健康福祉部医療政策課))	6

庁舎等

賀茂危機管理庁舎 (静岡県(経営管理部管財課))	6
県営住宅原団地O棟 (静岡県(暮らし・環境部公営住宅課))	7
水産技術研究所 (静岡県(経済産業部研究開発課))	7
下田警察署吉佐美駐在所 (静岡県(警察本部))	8

工作物 自然との調和1

東海道自然歩道 (静岡県(文化・観光部観光政策課))	8
ふじのくに田子の浦みなど公園 (静岡県(田子の浦港管理事務所))	9
鈴川緑地 (静岡県(田子の浦港管理事務所))	9
吉田公園 (静岡県(島田土木事務所))	10

土木施設 自然との調和2

木柵護岸工 (静岡県(浜松土木事務所))	10
水制工 (静岡県(島田土木事務所))	11
防風垣 (静岡県(中遠農林事務所))	11
静砂工 (静岡県(浜松土木事務所))	12
山留工 (静岡県(島田土木事務所))	12
カチオンフレーム工法 (静岡県(東部農林事務所))	13
木工沈床工 (静岡県(西部農林事務所))	13
木柵工 (静岡県(沼津土木事務所))	14
編柵工 (静岡県(浜松土木事務所天竜支局))	14
簡易木製構造物設置 (森林組合おおいかわ)	15
丸太積工 (森林組合おおいかわ)	15
丸太筋工 (静岡県(中部農林事務所))	16
立入防止柵工 (静岡市)	16
仮設防護柵工 (静岡市)	17
仮設工 (静岡県(企業局西部事務所))	17

建築物

富士山世界遺産センター

発注	富士山世界遺産課
設計	楳坂茂建築設計
施工	佐藤工業・若杉組JV
木材供給	フジヒノキメイト有限責任事業組合



撮影者 平井広行

【世界遺産センター外観 鳥居側から】

所在地	富士宮市宮町5-12
延べ面積・階数	3410.98㎡・地上5階
用途・用途地域	博物館・近隣商業
防・耐火上の要件	準防火地域・耐火建築物
設計・施工期間	平成26年3月～平成27年4月・平成28年3月～平成29年11月
設計費	約100,000千円
建設費(建物部分)	約3,000,000千円(880千円/㎡)
構造形式	S造
県産材利用量	74㎡(ヒノキ)
特徴	建物の特徴である逆さ富士の木格子に県産材であるフジヒノキ材を利用している。日本初となる国際認証「SGEC/PEFC森林認証(プロジェクト認証)」を取得した。



撮影者 平井広行

【ライトアップ 正面外観】



撮影者 平井広行

【木格子 アトリウム内観】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.01㎡/㎡	0.02㎡/㎡

建築物

金時公園多世代交流施設・土俵屋形

発注	小山町
設計	株式会社 計画・環境建築
施工	大幸建設株式会社 小山営業所
木材供給	有限会社 小寺製材所



【多世代交流施設(金太郎テラス) 南側】

所在地	駿東郡小山町中島
延べ面積・階数	休憩所: 119.25㎡・地上1階、土俵屋形: 31.36㎡・地上1階
用途・用途地域	休憩所・第一種住居地域
防・耐火上の要件	指定無し
設計・施工期間	平成28年12月～平成29年3月・平成29年6月～平成30年3月
設計費	2,789千円
建設費(建物部分)	75,600千円(土俵屋形、東屋改修含む)
構造形式	木造
県産材利用量	34.5㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	金太郎テラスは、金時神社の軸上に長屋門風にデザインし、建物を囲むベンチを始め、壁材、天井材などに富士山一金時材を使用した。また、土俵屋形は小山町のシンボルとなるよう、全て富士山一金時材を使用した。元口360φの杉丸太と120×360の杉梁が大屋根の木組みを構成している。



【休憩所・子どもスペース】



【土俵屋形】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.20㎡/㎡	0.23㎡/㎡

建築物

ふじのくに茶の都ミュージアム

発注	ふじのくに茶の都ミュージアム(一部営繕工事課)
設計	株式会社大瀧建築事務所 ほか
施工	角丸建設株式会社 ほか
木材供給	静岡県内



【綺麗さびを象徴する県産ヒノキを使用した吹寄せ壁】

所在地	島田市金谷富士見町3053-2
延べ面積・階数	4,532㎡・地上3階
用途・用途地域	博物館、非線引
防・耐火上の要件	指定なし
設計・施工期間	平成28年7月～平成29年3月・平成29年4月～平成30年3月
設計費	68,750千円
建設費(建物部分)	822,430千円(0.012千円/㎡)
構造形式	SRC造、木造(茶室)
県産材利用量	54.7㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	当施設全体のデザインコンセプトである「綺麗さび」を象徴的に表現した外壁は、格子部に県産ヒノキ(大井川流域)を使用し、和のイメージを醸し出している。「FSC森林認証(部分プロジェクト認証)」を取得中。



【カフェレストランのエントランス】



【常設展示室内のパネルへの使用】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.01㎡/㎡	0.01㎡/㎡

建築物

AOI-PARC

発注	営繕工事課
設計	(企)針谷建築事務所 他
施工	(株)加藤工務店
木材供給	オチアイ材木店



【エントランスホール】

所在地	沼津市西野317
延べ面積・階数	9,728.2㎡・地上5階地下1階
用途・用途地域	事務所(研究所)
防・耐火上の要件	耐火建築物
設計・施工期間	平成28年4月～平成28年8月・平成28年11月～平成29年5月
設計費	33,925千円
建設費(建物部分)	592,717千円(61千円/㎡)※一部改修
構造形式	RC造
県産材利用量	2.8㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	玄関ホール、エントランス及びホールは避難経路のため、不燃材のヒノキの羽目板を使用した。交流室については、不燃材を使用する必要が無いのでヒノキのムク材を使用した。



【ホール】



【交流室】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.01㎡/㎡	0.00㎡/㎡

建築物

二條集会所

発注	二條区
設計	設計者名 新谷設計
施工	有限会社平井工務店
木材供給	静岡県森林組合連合会 富士事業所



【施設全景】

所在地	南伊豆町二條82番地の3、1244番地の3、1244番地の7
延べ面積・階数	168.7㎡・地上1階
用途・用途地域	公会堂又は集会場・非線引き区域
防・耐火上の要件	なし
設計・施工期間	平成29年8月～平成30年2月
設計費	2,500千円
建設費(建物部分)	34,884千円(207千円/㎡)
構造形式	木造
県産材利用量	54.77㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	自治会の意向により、構造材(柱・梁・桁など)に富士ヒノキと伊豆市産材を積極的に活用した。



【内観】



【内観】

	目標値	実績値
単位面積当たりの県産材利用量	0.20 ㎡/㎡	0.325 ㎡/㎡

建築物

富士山こどもの国シカ避難小屋

発注	富士土木事務所都市計画課
設計	有限会社西建築設計事務所
施工	佐野藤建設株式会社
木材供給	株式会社J・ウッド



【シカ避難小屋全景】

所在地	富士市桑崎
延べ面積・階数	24.7㎡・地上1階
用途・用途地域	公園施設・指定無し
防・耐火上の要件	指定無し・その他
設計・施工期間	平成28年7月～平成28年10月・平成29年12月～平成30年3月
設計費	778千円
建設費(建物部分)	7,291千円(295千円/㎡)
構造形式	木造
県産材利用量	1.2㎡(ヒノキ)
特徴	大部分の構造材・非構造材に県産材(富士市産ヒノキ)を使用し、顕しとすることで暖かみのある建築物となった。



【内部状況】



【内部状況】

	目標値	実績値
単位面積当たりの県産材利用量	0.20㎡/㎡	0.05 ㎡/㎡

建築物

掛川西高等学校(普通教室棟)

発注	営繕工事課
設計	(株)渡辺建築設計事務所
施工	(株)若杉組
木材供給	成澤木工(株)



【普通教室】

所在地	掛川市城西
延べ面積・階数	2,961㎡・地上3階
用途・用途地域	学校・2種中高
防・耐火上の要件	耐火建築物
設計・施工期間	平成27年9月～平成28年3月・平成28年12月～平成29年12月
設計費	23,749千円
建設費(建物部分)	483,238千円(163千円/㎡)
構造形式	RC造
県産材利用量	16.3㎡(スギ)、76.4㎡(ヒノキ)
特徴	教室内床フローリング・壁スギ板張り、(木製)学校間仕切り



【階段室】



【普通教室(学校間仕切り)】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.02㎡/㎡	0.03㎡/㎡

建築物

三島市立北中学校

発注	三島市
設計	(株)植野建築設計事務所
施工	加和太建設(株)
木材供給	ニシド工業(株)



【内壁の内装材として県産材の腰壁を使用】

所在地	三島市文教町
延べ面積・階数	4,044.64㎡・地上4階
用途・用途地域	学校・第2種中高層住居専用地域
防・耐火上の要件	準防火地域
設計・施工期間	平成26年12月～平成28年3月・平成28年6月～平成30年3月
設計費	23,387千円
建設費(建物部分)	965,854千円(238千円/㎡)
構造形式	RC造
県産材利用量	9.7㎡(スギ・ヒノキ)
特徴	腰壁・天井に県産材を使用した。



【天井仕上げ材に県産材を使用】



【天井の木製格子に県産材を使用】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.01㎡/㎡	0.00㎡/㎡

建築物

介護老人福祉施設エクレス南伊豆

発注	社会福祉法人梓友会
設計	㈱松田平田設計
施工	㈱石井組
木材供給	(有)伊藤材木店



【全景】

所在地	賀茂郡南伊豆町加納792
延べ面積・階数	5968.1㎡・地上3階
用途・用途地域	福祉施設
防・耐火上の要件	指定なし・耐火木造
設計・施工期間	平成27年10月～平成28年5月・平成28年10月～平成30年1月
設計費	57,456千円
建設費(建物部分)	1,771,200千円(297千円/㎡)
構造形式	木造 一部 S造・SRC造
県産材利用量	23,438㎡(スギ、ベイマツ)
特徴	ツーバイフォー構造の3階建てで周囲の山に覆われ風景に調和した外観。木材の架構を表し、外装及び内装床や腰板に節付の木材を使用するなど、木材の質感や手触りにもこだわった施設。



【B棟2階 腰壁すざ板県産材】



【A棟いずのえんがわ 床ナラ合板フローリング】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.20㎡/㎡	0.00㎡/㎡

建築物

あぼかど

発注	(福)ひつじ
設計	松川総合アシスト
施工	コスモ建設(株)
木材供給	ポラテック富士、鈴木木材、中部メンテナンス



【施設全景】

所在地	磐田市蛭池 他
延べ面積・階数	461.0㎡・地上2階
用途・用途地域	社会福祉施設
防・耐火上の要件	その他建築物
設計・施工期間	平成29年4月～7月・平成29年9月～平成30年2月
設計費	4,000千円
建設費(建物部分)	92,551千円(201千円/㎡)
構造形式	木造
県産材利用量	31㎡(スギ)
特徴	木製(無垢)建具仕様 床や腰板に節付の木材を使用するなど、木材の質感や手触りにもこだわった施設。



【構造材に県産材を、柱には杉材を用いた】



【内装腰板、天井など杉板を利用した】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.20㎡/㎡	0.07㎡/㎡

建築物

静岡県立総合病院 先端医学棟

発注	(地独)静岡県立病院機構
設計	(株)横河建築設計事務所
施工	三井住友建設㈱、木内建設㈱、静鉄建設㈱
木材供給	(株)中部メンテナンス



【2階 ラウンジ(サイプレスコリドー)】

所在地	静岡市葵区北安東4-27-1
延べ面積・階数	20,569.60㎡・地上5階
用途・用途地域	第一種住居地域、第二種中高層住居専用地域
防・耐火上の要件	耐火建築物
設計・施工期間	平成26年7月～平成27年9月・平成27年12月～平成29年6月
設計費	237,600千円
建設費(建物部分)	10,035,380千円
構造形式	S造 一部 SRC造
県産材利用量	14.1㎡(ヒノキ)
特徴	ラウンジ等の共用部分に県産材による木製ルーバーを設け、やわらかく温かみのある空間を形成した。



【木製ルーバー】



【先端医学棟外観】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.01㎡/㎡	0.00㎡/㎡

建築物

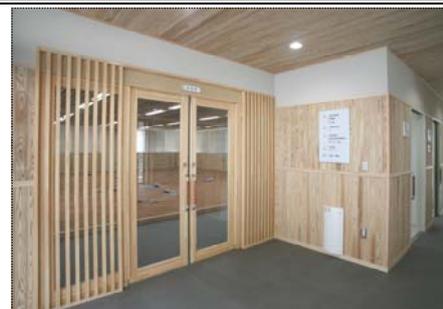
賀茂危機管理庁舎

発注	営繕工事課
設計	株式会社高橋茂弥建築設計事務所
施工	河津建設株式会社
木材供給	有限会社藤原材木店、株式会社マキバ



【1階各班室 天井木ルーバー、壁面羽目板仕上】

所在地	下田市数根
延べ面積・階数	1,290.56㎡・地上4階地下1階
用途・用途地域	事務所・用途地域非線引き
防・耐火上の要件	特になし
設計・施工期間	平成28年5月～平成29年1月・平成29年3月～平成30年3月
設計費	21,060千円
建設費(建物部分)	608,411千円(471千円/㎡)
構造形式	S造+SRC造+RC造
県産材利用量	11.5㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	1階の天井および壁面は木質化とし、2階～4階の腰壁を木質化した。



【1階エントランス 天井、壁羽目板仕上】



【4階会議室 腰壁羽目板仕上】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.02㎡/㎡	0.01㎡/㎡

建築物

県営住宅原団地〇棟

発注	沼津土木事務所
設計	株式会社小林建築事務所
施工	株式会社加藤工務店
木材供給	日本住宅パネル工業協同組合



【洋室】 床材にヒノキの複合フローリングを採用

所在地	沼津市大塚
延べ面積・階数	2,992.7㎡・地上5階
用途・用途地域	共同住宅・第2種中高層住居専用地域
防・耐火上の要件	指定なし・耐火建築物
設計・施工期間	平成27年10月～平成28年7月・平成29年2月～平成30年3月
設計費	14,796千円
建設費(建物部分)	543,023千円(181千円/㎡)
構造形式	既存RC造 増築部S造
県産材利用量	44.9㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	床にヒノキの複合フローリング、玄関腰壁にスギ縁甲板、台所の出入口ドアをスギ材の框ドア(引き戸)を採用。



【玄関】 腰壁スギ縁甲板張り



【台所】 スギ材の框ドア

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.02㎡/㎡	0.02㎡/㎡

建築物

水産技術研究所

発注	研究開発課
設計	企業組合針谷建築事務所
施工	㈱橋本組
木材供給	(有)小柳木工所



【展示室内装】

所在地	焼津市鯛ヶ島
延べ面積・階数	3,155㎡・地上4階
用途・用途地域	庁舎
防・耐火上の要件	準防火地域・準耐火建築物
設計・施工期間	平成26年12月～平成28年1月・平成28年10月～平成30年1月
設計費	44,280千円
建設費(建物部分)	1,004,400千円(318千円/㎡)
構造形式	RC造
県産材利用量	11.0㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	県民の目にふれやすい展示室、廊下、玄関、研修室に県産材を使用。



【研修室】



【会議室前廊下】

	目標値	実績値
単位面積当りの県産材利用量	0.01㎡/㎡	0.00㎡/㎡

建築物

下田警察署吉佐美駐在所

発注	下田土木事務所
設計	有限会社若林建築設計事務所
施工	株式会社土屋建設
木材供給	飯田興業有限会社



【事務室】



【事務室】



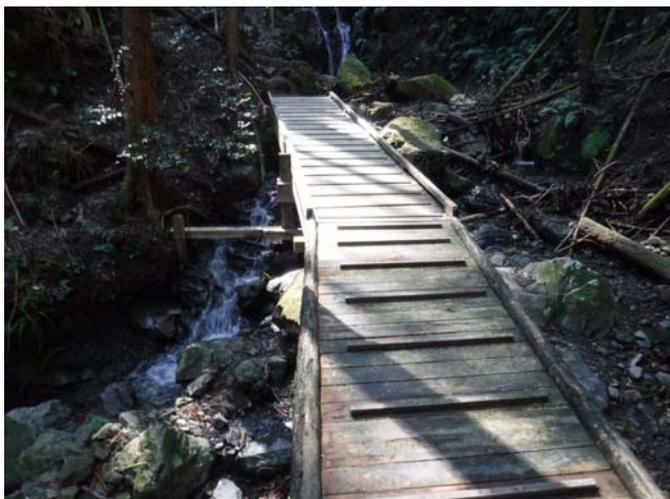
【相談室】

所在地	下田市吉佐美
延べ面積・階数	106.2㎡・地上2階
用途・用途地域	交番・非線引き
防・耐火上の要件	指定無し
設計・施工期間	平成28年5月～平成28年10月・平成29年2月～平成29年8月
設計費	2,376千円(解体設計費を含む)
建設費(建物部分)	55,617千円(524千円/㎡)
構造形式	S造
県産材利用量	2.2㎡(スギ、ヒノキ)
特徴	腰壁部に羽目板版を施工した。

	目標値	実績値
単位面積当りの 県産材利用量	0.02㎡/㎡	0.02㎡/㎡

工作物

東海自然歩道(静岡市葵区油山工区)



【木橋】



【土留工】



【階段工】

事業名	平成29年度東海自然歩道本コース自然歩道改修事業工事
所在地	静岡市葵区町油山
県産材使用量	12.2㎡(スギ)
事業費	14,394千円
事業主体	静岡県(文化・観光部観光政策課)
特徴	周辺景観との調和を考慮して、木橋及び土留工に静岡県産スギを使用し、美しい自然や貴重な文化遺産に足で歩いて魅力に触れる東海自然歩道にふさわしい仕上がりとした。

工作物

ふじのくに田子の浦みなと公園



【全景】

事業名	平成29年度[第28-W9201-01号]田子の浦港社会資本整備総合交付金【効果促進事業(緑地等)】交流拠点施設(シンボルタワー)整備工事
所在地	富士市前田
県産材使用量	9.0㎡(ヒノキ)
事業費	7,500千円
事業主体	静岡県(田子の浦港管理事務所)
特徴	周辺景観との調和及び耐久性を考慮して、手すりに静岡県産ヒノキを使用し、緑地公園にふさわしい仕上がりとした。



【近景】



【近景】

工作物

鈴川緑地



【全景】

事業名	平成29年度田子の浦港社会資本整備総合交付金【広域連携事業・山梨静岡(重要)】緑地整備工事(施設整備工)
所在地	富士市鈴川東町
県産材使用量	6.1㎡(スギ)
事業費	19,000千円
事業主体	静岡県(田子の浦港管理事務所)
特徴	周辺景観との調和及び耐久性を考慮して、あずまやに静岡県産スギを使用し、緑地公園にふさわしい仕上がりとした。



【全景】



【施工状況】

吉田公園木橋修繕工



【やすらぎ橋南側から望む】



【やすらぎ橋北側から望む】

事業名	平成28年度吉田公園公園・緑化推進事業費工事
所在地	榛原郡吉田町川尻
県産材使用量	8.0㎡(スギ)
事業費	12,371千円
事業主体	静岡県(島田土木事務所)
特徴	周辺景観との調和及び耐久性を考慮して、木橋の床板及び手摺り柵に静岡県産スギを使用し、県営公園にふさわしい仕上げとした。



【芝生広場木製通路】

木柵護岸工



【全景】

事業名	平成29年度]級河川宇利山川河川改良工事(木柵護岸工)
所在地	浜松市北区三ヶ日町平山
県産材使用量	9.8㎡(スギ)
事業費	10,001千円
事業主体	静岡県(浜松土木事務所)
特徴	施工箇所は淵だまりとなっている箇所、背後に小学校や幼稚園がある。小学校では、課外授業等で、河川に親しむ取組が行われており、アクセスが容易となる木柵護岸を採用した。



【一段を25cmとし、子供でも河床に、降りやすい構造とした】



【一段を50cmとし、一段あたりの奥行きを1m確保した】

土木施設

大井川の伝統的河川工法(大聖牛)(水制工)



【家山川親水公園に大聖牛の原寸大モデルを展示】

事業名	平成29年度河川維持修繕工事(水制工)
所在地	島田市川根町家山
県産材使用量	2.7㎡(スギ)
事業費	3,402千円
事業主体	静岡県(島田土木事務所)
特徴	現地の大井川産スギを使用して大聖牛の原寸大を製作し、親水公園内に展示した。大聖牛は武田信玄の創案によるものといわれ、今でも急流河川の砂礫移動の激しい箇所に適している伝統的河川工法をPRする。



【大聖牛の押さえは竹蛇籠を使用】



【現地で調達できる材料で完成】

土木施設

防風垣(竹す)



【設置状況(全景)】

防風垣は、植栽樹木を強風から守る役割がある

事業名	平成29年度治山(防災林造成)小中瀬1工事
所在地	磐田市小中瀬
県産材使用量	2.8m ³ (スギ、ヒノキ) 防風垣延長1,889.5m
事業費	86,700千円
事業主体	静岡県(中遠農林事務所)
特徴	(株)ノダから支給された材料を防風垣の支柱として活用している。平成29年度の防災林造成工事全体の支柱の使用量は、約15,000本(43.2m ³)である。



【設置状況(近景)】



【施工状況(杭打ち込み)】

静砂工



【静砂工設置状況】

事業名	平成28年度浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 (海岸)工事(植栽工その7)
所在地	浜松市南区江之島町
県産材使用量	34.3㎡(スギ、ヒノキ)
事業費	27,884千円
事業主体	静岡県(浜松土木事務所)
特徴	防潮堤法面の植栽木を、飛砂・強風から保護し、確実な生育を促す。



【近景】(H=1.00m)



【使用資材搬入状況】(木材)

山留工



【山留工設置状況】

事業名	平成27年度(国)473号道路改良(地域連携2A)地域高規格道路工事(1号橋A1橋台工)
所在地	島田市菊川
県産材使用量	8.5㎡(スギ)
事業費	53,352千円
事業主体	静岡県(島田土木事務所)
特徴	橋台工の施工にあたり掘削面からの落石や土砂崩落に備え、作業員の安全を確保するための仮設の山留工を設置し、横矢板の材料として県産木材を利用した。



【掘削状況(山留工設置前)】



【橋台工完成】

土木施設

カチオンフレーム工法(県産材合板仕様)



【カチオンフレーム工法(県産材合板仕様) 谷止工完成時】
合板に加え平割材も使用しているため木材利用量が向上

事業名	平成29年度治山(予防)峯坂工事
所在地	駿東郡小山町柳島
県産材使用量	2.4㎡(ヒノキ)、1.8㎡(合板)
事業費	21,522千円
事業主体	静岡県(東部農林事務所)
特徴	通常の合板型枠工と比べ単管の設置撤去作業が不要なため、作業時間が短くなり施工性が向上した。 全ての作業を型枠の内側から行うことができ、安全性が向上した。



【施工状況】カチオンフレーム組立



【施工状況】セパボルト溶接

土木施設

木工沈床



【木工沈床】杉丸太を組み合わせ、内部に詰石を行う

事業名	平成29年度治山(復旧)宮ノ沢工事
所在地	浜松市天竜区水窪町奥領家
県産材使用量	3.08㎡(スギ)
事業費	40,707千円
事業主体	静岡県(西部農林事務所)
特徴	材料が軽量で現場での組み立て作業が容易な木工沈床を施工することにより、洗掘対策としての機能を損なわずに経済性及び施工性が向上した。



【施工状況】杉丸太組立



【施工状況】詰石作業

木柵工



【全景】



【近景】



【近景】

事業名	泉川支川谷戸沢火山砂防(防災・安全交付金)工事
所在地	裾野市深良
県産材使用量	7.64m ³ (ヒノキ)
事業費	638千円
事業主体	静岡県(沼津土木事務所)
特徴	砂防堰堤設置に伴い掘削した地山との間詰工において、法面勾配を緩やかにし、間伐材の利用促進を図ることを目的に木柵工を実施した。

編柵工



【全景】



【近景】



【下流から上流】

事業名	平成28年度門島特定緊急地すべり対策工事(法面保護工1~3工区)
所在地	浜松市天竜区春野町杉地内
県産材使用量	156.3m ³ (スギ)(1工区:11.5m ³ 、2工区:69.3m ³ 、3工区:75.5m ³)
事業費	247,800千円
事業主体	静岡県(浜松土木事務所天竜支局)
特徴	体積土砂の表面浸食を防ぎ、自重が軽量のため体積土砂に負担がかからない。背面に樹木を植えることで自然斜面の復元をする。自然素材であるため樹木が成長するまでの期間についても景観が損なわれない。

簡易木製構造物設置



【現地発生材を利用した簡易木製土留を設置】

事業名	森の力再生事業(人工林再生整備事業)
所在地	藤枝市瀬戸ノ谷
県産材使用量	20.0m ³ (ヒノキ)
事業費	6,114千円(当該工種のみでは466千円)
事業主体	森林組合おおいがわ
特徴	林地に残置される伐採木等を利用し、簡易な土留(丸太2本積)を設置することで、土砂流出、土壌侵食の防止が図られる。



【丸太を2本積し、杭木打設により固定】



【丸太土留の背面に土や枝条を集積】

丸太積工

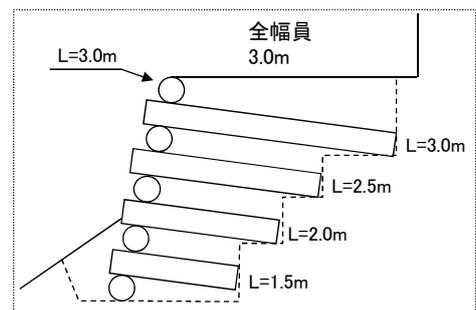


【施工状況】

事業名	平成29年度県単独林道事業(森林作業道開設)日掛山上線
所在地	島田市川根町笹間渡
県産材使用量	20.3m ³ (スギ)
事業費	3,136千円
事業主体	森林組合おおいがわ
特徴	現地発生材を利用して安価に盛土箇所の路肩を保護できる。



【丸太積工を施工した作業道】



【定規図】

土木施設

雪害倒木を活用した丸太筋工



【完成】表土の流出を防止し、植生成育環境を改善

事業名	平成29年度(防災林造成)井川工事
所在地	静岡市葵区井川
県産材使用量	3.6㎡(スギ)
事業費	15,000千円
事業主体	静岡県(中部農林事務所)
特徴	林床植生がなく表土が流出している林内において、丸太による筋工を設置することにより、斜面の表面水を分断を図り地表侵食を防止すると共に、植生の早期導入のための成育環境の改善を図ることができる。また、雪害木の有効利用により、コストの縮減を図ることができる。



【施工中】人力による簡易な施工



【完成】現地材利用によるコスト縮減

土木施設

立入防止柵工



【立入防止柵設置完了(安全ネット有)】

事業名	平成29年度 清県道 第6号 (主)清水富士宮線(庵原町14・16・17区)道路改良工事
所在地	静岡市清水区庵原町
県産材使用量	0.4㎡(スギ)
事業費	23,736千円
事業主体	静岡市
特徴	安全対策ネットを併用している。



【丸太杭打込状況】



【丸太杭打込完了】

仮設防護柵工



【写真】 仮設防護柵設置

事業名	平成29年度 葵南市公災第3号 大原水見色線(仏沢) 道路災害復旧工事
所在地	静岡市葵区 大原
県産材使用量	4.2m ³ (スギ)
事業費	5,292千円
事業主体	静岡市
特徴	台風21号により法面崩壊が発生し、早急に通行を確保するため、手配から運搬が容易な木材による落石防護柵を施工した。

仮設工



【起点側工事看板(写真右側)】

事業名	遠州広域水道供給事業山崎支線 送水管布設工事
所在地	袋井市岡崎
県産材使用量	0.08m ³ (マツ)
事業費	38,966千円
事業主体	静岡県(企業局西部事務所)
特徴	県産材木材を利用した工事看板2基



【終点側工事看板(写真右側)】



【認定番号】